

第3学年 美術科 学習指導案

日 時 平成20年11月6日（木）5校時

学 級 3年C組（33名）

場 所 美術室

指導者 齋藤 里香

1 題材名 鑑賞 「アジアの多様な美術 ～アジアの仮面たち～」

2 題材について

(1) 題材観

学習指導要領の中で2，3学年B鑑賞ウの目標には「日本の美術の概括的な変遷や作品の特徴を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさなどを味わい、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。」とある。本校の学区には「鬼の館」があり、ほとんどの生徒が見学した経験を持っている。鬼剣舞の踊り手として面をかぶったことがある生徒もいる。生徒にとって身近な鬼剣舞の歴史は1300年前にさかのぼると言われている。現代のIT文化の中でも遥かな時を経て、受け継がれてきた世界は文化の根源に関わるものを呼び起こしてくれる。本題材は身近な文化とアジアの文化の共通点などをきっかけに美術文化や文化遺産に関心を持たせることができるものである。

(2) 生徒観

小学校を別の学区で卒業した2名を除き、31名が鬼の館に行って様々な面を見学したことがある。また、面をつけて鬼剣舞を踊ったことがある生徒も13名いる。今までの経験からある程度歴史について知っている生徒もあり、面をかぶって踊ったときの感覚、また、鬼剣舞を見て感動した経験など、個々の経験をもとに仮面の持つ意味をみんなで学び合うことで伝統文化に対する理解を深め、美術文化に対する関心を全体に高めることができるのではないかと考える。文化祭が終わり、班替えをして1週間であるが、男女を超えて自由に話し合いができるグループであると期待している。

(3) 指導観

仮面をたどれば、神、仏、悪霊、豊作、無病息災、など様々な人間の祈りや感謝の心が見えてくる。そして、仮面は音楽や舞踏など幅広い芸術とも結びついたものである。アジア各地に広がる仮面やその文化遺産をはぐくんできた風土、歴史に対して、生徒それぞれが感じた価値を発表し合い、多様な考えや仮説に触れさせることでさらに興味を持たせたい。

3 題材の指導目標

アジア各地に広がる美術文化やそれをはぐくんできた民族の歴史に関心を持たせ、積極的に関わっていかうとする気持ちを育てる。

4 題材指導計画

アジアの多様な美術

- ・アジアの仮面たち …… 1時間（本時）
- ・茶とアジア …… 1時間

5 本時の指導

(1) 目標

アジアの仮面の特徴や相違点と共通性などに気付き、なぜ仮面がつくられたのかをそれぞれの地域の風土や歴史にも関心を持って考えることができる。

(2) 具体の評価規準

	十分満足できると判断される状況(A)	概ね満足できると判断される状況(B)	努力を要する生徒への指導の手だて
美術への関心 ・意欲・態度	アジアの仮面について関心を持ち、積極的に鑑賞し、理解を深めようとしている。	アジアの仮面について関心を持ち、意欲的に鑑賞している。	アジアの仮面について、自らの経験や小グループ内の仮説をもとに関心を持たせる。
鑑賞の能力	それぞれの風土や歴史によってはぐくまれてきた仮面の特徴や相違点と共通性に気付き、国際理解を深めることができる。	それぞれの風土や歴史によってはぐくまれてきた仮面の特徴や相違点と共通性に気付き、価値を理解することができる。	それぞれの風土や歴史によってはぐくまれてきた仮面の特徴や相違点と共通性に、鑑賞の視点を与えることによって気付かせ、そのよさや価値について考えさせる。

(3) 本研究との関わり

本時の学習において「学び合い活動」の場を次のように考え、設定した。

- ◆各国の仮面を比較して、特徴や共通点や相違点などを出し合って整理する場面

【小グループ】

- ◆何のために仮面がつくられたのか、自分の仮説をもとに話し合い、発表する場面

【小グループ、全体】

(4) 本時の展開

段階	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意事項 (◆学び合い活動 ◎評価)
導入 10分	1 各国の仮面の写真を見て、感じたこと、気付いたことを話し合う	<ul style="list-style-type: none"> 直感的に感じたことや気付いたことを発表する。 小グループごとに面の特徴や共通点、相違点などを出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> どんなキャラクターなのか、想像させてみる。 はじめの印象を大事に生かす。 ◆前段の発表も参考にして、それぞれの面の特徴などに気付かせ、整理させる。【小グループ】 ◎話し合いの様子
仮面に秘められた念いの謎			
展開 33分	2 今までの経験や鬼剣舞などに対して知っていることを交流する	<ul style="list-style-type: none"> 面をかぶった時の気持ち、どんな場面で踊ったのか、など交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 面や芸能に関わる生徒の経験からもヒントを導く。 信仰にまつわる祭事から始まり、芸能へと発展していった文化の流れに気付かせる。
	3 いくつかの仮面劇や芸能について鑑賞する	<ul style="list-style-type: none"> 写真や映像で鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎鑑賞の様子 各国の共通の文化基盤や交流、文化や感覚の違いにも興味を持たせたい。
終末 7分	4 仮面の目的や役割を考える	<ul style="list-style-type: none"> 「何のために仮面がつくられたのか」自分なりの仮説を立てて考える。 それぞれの仮説をもとにグループで話し合っまとめ、全体に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ワークシートへの記入の様子や内容 ◆話し合いによって深められた仮説をまとめすぎないで広く発表させるようにする。 【全体】 ◎話し合いの様子
	5 興味を持ったこと、感想などをワークシートに記入する	<ul style="list-style-type: none"> 自分で仮説を立てて考えたことや話し合ったことなどを記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ワークシートへの記入の様子や内容
	6 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> 茶の文化に焦点を当てることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮面以外にもたくさんの共通する文化がアジアには残っていることを知らせる。